



12月議会一般質問にて、No.594に続き、川添議員の『学校の教育環境の改善について』（①学校トイレの改修について、②教職員の働く環境の改善について、③通学路の安全対策について）の質問、陳情と議案の対応について報告します。

## 危険な通学路の安全対策を

6月に千葉県で下校中の児童ヘトラックがつかこみ、児童5人が死傷した事故が起きました。この場所では、5年前にも同様の事故が起こっていたといひます。

こうした事故が起こる前に、児童・生徒の通学路の安全確保が行われなければなりません。市内でも通勤や通学時間、下校時間と重なり、危険な箇所が見受けられるため、学校からの要望や対策について求めました。



### 2021年の小・中学校からの要望件数と内訳

		小学校	中学校
道路関係	道路、歩道、外側線等の整備・拡幅	36件	6件
	道路に面する樹木の伐採、草刈り等	27件	3件
	ガードレール、カーブミラー、街路灯などの設置・補修	25件	4件
	道路、歩道、外側線等の補修	14件	1件
	<b>合計</b>	<b>102件</b>	<b>14件</b>
交通関係	横断歩道・停止線等の設置、補修	62件	4件
	交通標識等の改善、注意看板等の設置	23件	2件
	信号機の設置等	12件	1件
	交通規制の実施	3件	1件
	その他	16件	2件
	<b>合計</b>	<b>218件</b>	<b>24件</b>

### 山王・成瀬中学校の交通環境改善を要求

川添議員からは、具体的に山王中学校と成瀬中学校の学校周辺の交通環境の改善、登校時間帯の交通規制について要望と説明を求めました。

#### 山王中学校

『山王中学校西側』信号から山王中学校前の道路について、幅も狭く、自転車での通学もあり、通勤時間と重なり車の往来もあることから、危険箇所となっており、大型トラックも間違っか、わざとか、通行する姿も見かけます。



※上記は教育委員会から関係課に対応を依頼

#### 成瀬中学校

通学時間、特に部活のない日や雨の日など、生徒が密になり、小学校方面からくる車の渋滞、そこから右折する車があったり、さらに、中学校に向かって右側は道路幅が狭く、歩道もなく、白線が引かれているだけとなっています。



### 登校時間帯の交通規制も可能

#### 教育委員会と市の答弁

成瀬中学校や山王中学校の学校前では、特に雨天時に、生徒の送迎に伴う交通集中により混み合うことがある。学校では、送迎時の出入りのルール等を保護者に示し、教職員の協力により交通混雑の緩和に努めている。

学校で送迎時のルール等の啓発を図り、交通混雑の解消を図るように努める。

伊勢原警察署に確認したところ、交通規制をかけるには、周辺住民の総意が必要。総意が確認できれば時間帯規制ははじめ、実施することは可能。規制が広範囲の場合は周辺地元自治会などで住民意見の集約が必要。これが難しく規制に至っていない場所もいくつかある。

# 『通学路における合同点検の実施について』の依頼への対応

さらに前述の千葉県の事故を受け、文科省から小学校の通学路を対象とした『通学路における合同点検の実施について』の依頼への対応状況について質問しました。

## 教育委員会の答弁

文部科学省からの照会に対して、本市では、道路管理者による対策箇所として14箇所、警察による対策箇所として10箇所の合計24箇所を報告している。

道路管理者による対策箇所は、歩道が整備されていない場所などを報告しており、道路主管課において、該当箇所の歩道設置や歩車共存道路整備(グリーンベルト)等の工事を計画的に整備できるよう取り組んでいる。

また、警察による対策箇所では、横断歩道が薄くなっている場所などを報告しており、警察で早期の対応を検討している。

文科省からは…

①見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など、車の速度が上がりやすい箇所や大型車の進入が多い箇所

②過去に事故に至らなくても、ヒヤリハットの事例があった箇所

③保護者、見守り活動者、地域住民等から市町村への改善要請があった箇所などの確認を行い報告することとなっています。

最後に、教育長に、①学校トイレの改修について、②教職員の働く環境の改善について、③通学路の安全対策について答弁を求めました

## 教育長の答弁要旨

学校施設は、未来を担う子供たちが集い、学び、生活をする場であるとともに、地域住民にとっては、地域活動やスポーツ活動などの場であり、災害時には防災拠点ともなる重要な施設である。

引き続き、国庫補助金などの財源確保に努め、トイレ改修を始めとする学校施設の環境改善を図っていく。

教職員の多忙化について、今年度導入した出退勤管理システムにより、教職員が自らの在校等時間を把握することで、勤務時間に対する意識も高まっていると考える。

今年度、スクール・サポート・スタッフを、全校に配置することで教職員の負担軽減を図っているが、引き続き、教職員の多忙化解消に向けた措置を講じていく。

通学路の安全対策は、引き続き、学校、PTA及び地域と実施する安全点検により実態を把握し、登下校時の安全確保に向けた取組を進めるとともに、関係部署と連携し対応していく。

様々な教育課題が山積している中で、子どもたちの健やかな成長に資するよう適切に対応していく。

学校の教育環境や通学環境について、お困りのことやご要望があれば、お気軽にご相談ください。

## 12議会の陳情への対応と結果

日本共産党伊勢原市会議員団は、陳情第19号以外は賛成の意見を表明し採択すべきとの立場をとりました。

陳情第10号	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための陳情	→不採択
陳情第11号	介護施設の人員配置基準の引上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情	→不採択
陳情第12号	精神保健福祉の改善に関する陳情	→不採択
陳情第13号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	→不採択
陳情第14号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	→不採択
陳情第15号	沖縄県の米軍新基地建設の海域埋立てのため、沖縄戦戦没者遺骨の混じった南部の土砂を使用しないよう国に意見書の提出を求める陳情	→採択
陳情第19号	別居、離婚における、親子が守られる環境整備を求める陳情	→採択

## 議案第63号、伊勢原市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例への反対討論

12月議会では職員の期末手当の引き下げについての議案も出され、日本共産党伊勢原市会議員団は以下の理由から反対しました。

現在、公務員人事の課題として、公務志望者の減少、若手職員の離職の増加、長時間労働の問題、仕事と家庭生活の両立支援などがあり、公務職場の魅力が下がり、人材確保が以前よりも難しくなっていると人事院からも報告がされています。本市も様々な専門職をはじめ、公務労働における職員の人材育成について、課題があると考えます。こうした中、昨年から続く、コロナ禍で市民の命と健康を守るため、市職員はコロナ対策をはじめ、多大な業務に奮闘してきました。その労苦にこたえず、一時金を引き下げることは認められず、さらに公務員の賃金引き下げは、すべての労働者の賃金引き下げにもつながります。民間給与が下がっているために公務員の給与も下げる、では賃金引下げの負のスパイラルを断つことができません。今は国民の購買力を高め、経済のエンジンを回すことが求められている情勢です。消費の低迷、景気後退の悪循環になりかねません。

以上の理由から本議案に反対の意見を表明します。

なお、職員と、特別職の給与と、議員報酬については、職務の内容も性質も異なり、一括審議により市民が判断しづらい状況をつくっている問題もあるため、別議案として提起し、問題の解消が図られるよう要望します。